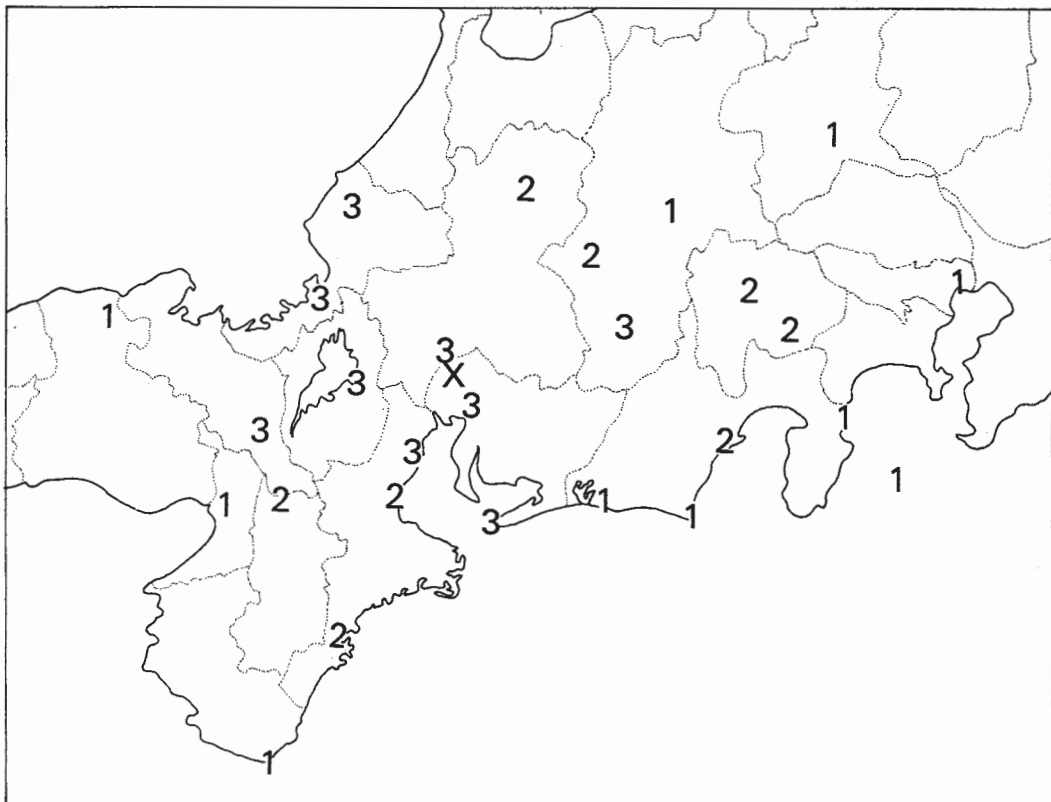


4-6 1975年3月14日の愛知・岐阜県境の地震について

The Earthquake of March 14, 1975 in Aichi-Gifu Border

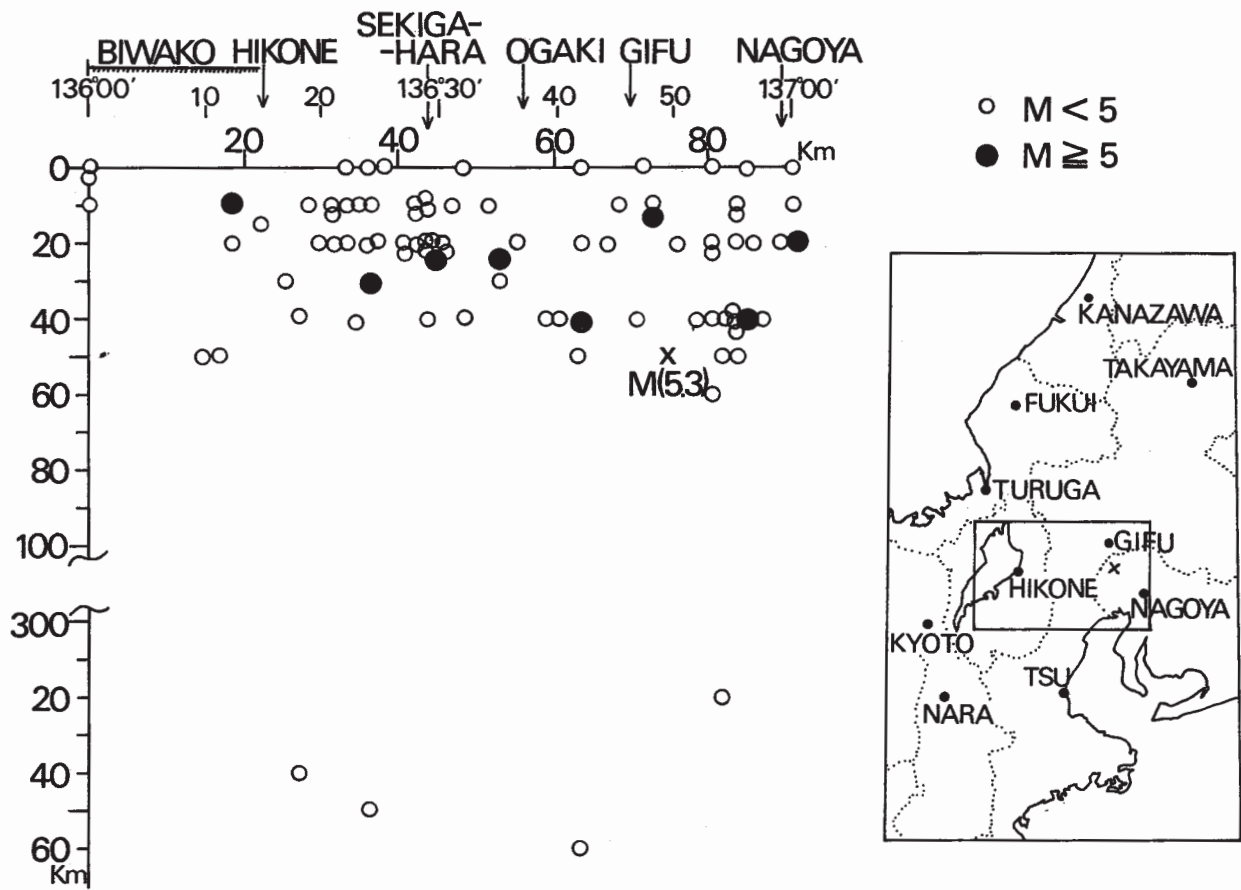
気象庁地震課・地震活動検測センター
Seismological Division and SAMC,
Japan Meteorological Agency

3月14日22時56分17.1秒に愛知・岐阜県境の東経136°50′、北緯35°18′、深さ50km、 $M = 5.3$ の地震が発生した。震度分布は第1図のようになっているが、震央付近では棚の物が落ちたりして多少の被害があった。同地域の北部は1891年の濃尾地震などの被害地震の起こった所である。しかし今回の震央付近は歴史的に大地震の記録はないが、小地震はしばしば起きている。第2図は1926年から1974年まで49年間の東経136°00′-137°00′、北緯35°00′-35°30′内の領域に発生した地震の東西断面図である。これによると、今回の地震は従来の地震発生領域の下限に発生した比較的珍しい地震ということがいえそうである。



第1図 震度分布図

Fig. 1 Distribution of seismic intensities (22^h56^m March 14, 1975).



第 2 図 震源地付近の震源の東西断面図 (1926 - 1974)

Fig. 2 Distribution of hypocenters projected on the E-W vertical plane near source region(1926-1974).